４月２１日　　**テーマ：神が私を遣わした**

聖書箇所：創世記４５章１節～２０節

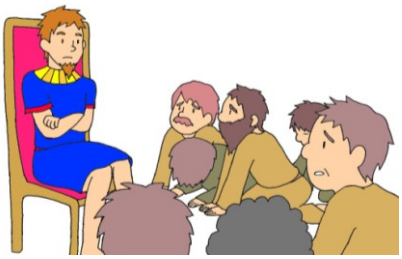
◆今日のみことば

“だから、今、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。”
創世記４５章８節

◆メッセージ

あなたは、誰かにいじわるされたり、仲間はずれにされたことはありますか。そんな時、あなたは、いじわるしたり、仲間はずれにした人に、優しくしたり、ゆるしたりすることができますか。なかなかできませんね。人をゆるすということは、難しいことです。

牢屋に入れられたヨセフさんに大きなチャンスが訪れました。エジプト王の見た不思議な夢を説明することになったのです。それは、７年の豊作(食べ物がたくさんとれること)と７年の飢饉（食べ物がなくなってしまうこと)。エジプトの王は、神さまの知恵があるヨセフさんを総理大臣にしました。神さまは、ヨセフさんの心を、ちゃんと見ていてくださいました。苦しい毎日の中で、神さまを信じ続けたヨセフさんは、神さまに助けられ、守られ、何と、エジプトの総理大臣になったのでした。



そんなある日のこと、カナンの地からお兄さんたちが食糧をわけてもらいにやってきたのです。お兄さんたちは、エジプトの総理大臣がヨセフさんとは気がつきませんでした。お兄さんたちが自分のことで悔いていることもわかりました。ヨセフさんはようやくわかりました。「この食べ物がなくなってしまう時にも、イスラエルの民を守るために、神さまは僕をエジプトに連れて来られたんだ！」そして、お兄さんたちに「今、私をここ(エジプト)に遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。」と優しく言うことができたのでした。お父さんのヤコブさんをはじめ、全家族をエジプトに呼び寄せて、飢饉の中でも安全に暮らせるようにしました。

私たちにも、「神さまに従っているのに、どうしてこんなことになるの？」ということが起こるかもしれません。すぐにはわからなくても、神さまのご計画があります。ヨセフさんと共にいて、ヨセフさんを守り用いてくださった神さまは、私たちと共にいて私たちを守ってくださいます。

◆お祈り

「神さま、私も、神さまの守りの中にあることを感謝します。神さまのみ手の中にあることを覚えて、人をゆるすことができるように助けてください。」

（二本松福音の家教会牧師　星沢数也）